



春江だより

5月号

令和6年5月1日

江戸川区立春江小学校

## 「関わり」を大切に

校長 小林 麻子

校庭の木々が青々とした葉を揺らし、爽やかな風が心地よい季節となりました。先日は第一回保護者会に多くの保護者の皆様にご参加いただきまして、ありがとうございます。その中で本校の挨拶について、昨年度よりすすんで挨拶できる子供が増えていること、お辞儀をして丁寧に挨拶できる子供がいることの話をしていただきました。挨拶は、人と人とが関わる第一歩。挨拶をきっかけに相手のことを少しずつ知ったり、自分のことを知ってもらったりしてつながりを持ち、関わりを深めることができます。そこまでいかなくとも、互いに挨拶することで気持ちが爽やかになり、明るい気分になります。

我が家の近所に、年配のご夫婦が手作り豆腐を販売している豆腐屋さんがあるのですが、買い物に行くとそのご主人は必ず挨拶とともに天気の話をして、「いらっしやい。今日は寒いですね」「こんにちは。さっきまで雨がひどかったけど上がってよかったですね」「いいお天気で気持ちがいいですね」など、その日の様子を話されます。挨拶代わりの天気の話から小さな会話が生まれ、いつも帰り道は自然と爽やかな気持ちに、そして笑顔になります。

㊤明るく元気に ㊤いつでも何度でも ㊤先に声をかけよう ㊤つなごうみんなの気持ち

これを合言葉に、1年間挨拶を推進していきます。

さて、対面式から新1年生も春江の新たな仲間に加わり、子供たち同士の新たな関わりがはじまっています。本校では異学年交流活動として、「縦割り班活動」を年間通じて計画的に実施しています。本活動は、遊びや制作活動を班長の6年生が中心となり、計画、準備、活動、振り返りをしていく中で、高学年は下級生の手本となる自覚や責任をもつこと、下級生はみんなと協力することの大切さを学ぶことを目的としています。異学年の子供たちが関わることにより、社会性を育て、コミュニケーション能力を養い、本校の教育目標の一つである「思いやりのある子」、自分も他の人も大切にする子を育てます。

先日は、第一回目の「縦割り班活動」が実施されました。班ごとに集まり、自己紹介と班長さんらが企画した遊びを行いました。低学年に気を配りながらリードする上級生の表情が優しく、1年生も安心して遊ぶ様子が見られました。

本校の特色ある活動である「縦割り班活動」の取組を本年度も充実させるとともに、様々な人との「関わり」を広げたり、深めたりしていきます。そして、その関わりを通して自己肯定感を高め、学びや生活への意欲を引き上げ、何事にもチャレンジしていくやる気につなげていきます。